

世界では広がりを見せる一方、全盛期は1200万人とも言われた競技人口が300万人を切るほどになってしまった日本囲碁界。

世界一奪還という念願と合わせて一石二鳥の妙手として期待されている

布石定石

67 日本棋院県本部から

のが、青少年への囲碁普及活動。具体的には、保育園、幼稚園、養護施設、小中高等学校、大学等での囲碁授業実施です。

授業と一言とおこがましい感じがしますが、授業時間やクラブ活動の中で囲碁教室を実施すると

青少年への普及活動

いうもので、特に東京都では都教委の「日本の伝統・文化理解教育推進事業」の指導書の中に囲碁の項目もしっかり載っているため、全生徒を対象に囲碁授業を行っている学校が複数あります。

また、大学では、2005年の東京大学「囲碁

「授業」で競技人口増を

で養う考える力」を皮切りに、昨年度末までに全国で20の大学が、単位の取れる教養科目として囲碁講座を採用しています。

昨年10月には、九州の国立大では初めて、九州大学が15年後期から、教養を身につける「基幹教育」として囲碁を導入し

た、という話題もありました。東北では、福島大学が14年度から「囲碁の世界」を開講しています。残念ながら県内の大学は未開講ですが、私は家内（古川こんゆ、日本棋院棋士、二段と一緒に、昨年10月から週1回ほど弘大囲碁部に遊びに行っ

た、という目標を与えられて研さんを積んでいるのです。他に家内と2人で活動しているところで、弘前市立千年小学校では、一昨年度からクラブ活動の中に囲碁を取り入れてくださり、昔はあって今は無くなっていた囲碁将棋

ています。知人の紹介で同部顧問の山田史生教授とお会いできた縁から実現したのですが、学生も思いのほか楽しんでくれているようです。

大学生の全国大会もあり東北ブロック予選が行われるのですが、どうも東北大学が強いらしい。そこで山田教授から「打

クラブを復活させてくれました。また、昨年12月16日付本紙朝刊でも大きく取り上げられました。弘大付属小学校で、同15日に3学年105人、16日は4学年87人を対象として、県内の小学校では初めてとなる、プロ棋士（家

内）が授業の時間に行う



周辺地域からも老若男女が集う弘大囲碁部の活動風景＝2015年10月

囲碁入門教室が実現したのです。協力してくれる皆さまに感謝です。ところで、囲碁が脳活性化に役立つという研究結果があるのはご存知ですか。また、何歳くらいから始められるイメージですか。年を取ってからでは遅いと思われていませんか。（県最強位 古川元）